

# Web2.0時代のフロントシステムを実現する Ajaxフレームワーク

2008年3月更新

## 概要

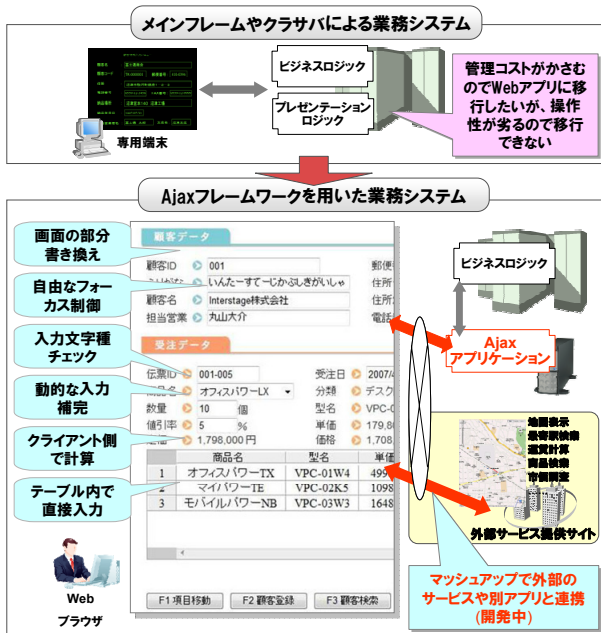
Webアプリケーションにおいて、これまでのHTMLの枠を超えた操作性を実現するリッチクライアントフレームワークです。JavaScript初のクライアントMVCモデル(注1)やパターン部品によって、最近注目を集めているAjax (Asynchronous JavaScript and XML) 技術を利用したWebシステムを高い生産性で開発することを可能にします。クラサバシステムで標準的な機能も提供し、移行を支援します。

## 技術のポイント

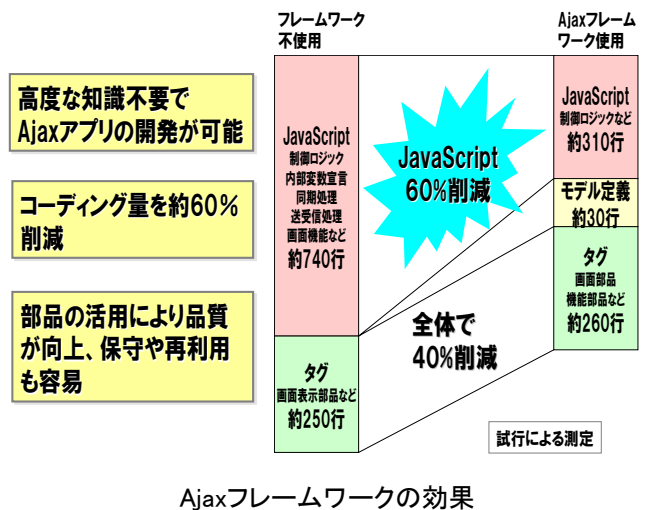
- ・ JavaScript初のフロントMVCモデルを実現  
クライアント側のJavaScript上にMVC構造を実現することでデータ・画面間などの同期処理を自動化し、コーディング量を60%削減(フレームワーク不使用時との比較)。また、開発を型決めすることで高い生産性でAjaxアプリを開発可能に。
- ・ 画面部品・機能部品を組み合わせることで高度な機能を実現  
画面表示部品とその機能を分離し、それぞれを部品化。複数の部品を組み合わせるだけで高度な機能を実現。
- ・ クラサバからの移行を支援する豊富な部品群  
既存クラサバシステムの典型的な画面機能を部品として提供。これまでのWebアプリでは実現困難だった機能もサポート。

## 適用例

- ・ Webアプリケーションのユーザビリティ改善  
画面全体の書き換えに作業が中断されることなく、レスポンスの良い操作/入力が可能になります。
- ・ クライアント運用コストの削減  
クラサバシステムからブラウザのみで動作するシステムへ移行することにより、クライアントへの初期導入・バージョンアップが不要になります。
- ・ リッチWebアプリケーション開發生産性の向上  
フレームワークや高機能・高品質な部品の利用により開発量が削減され、保守性・再利用性も向上します。



Ajaxフレームワークによる業務システムのイメージ



Ajaxフレームワークの効果

注1 MVCモデル:  
データ(Model)、画面表示(View)、制御(Control)を分離し、独立性を高めて開発効率を向上させる手法。